

# 奈良JC

[奈良]

## 平城遷都1300年を目指して 現役メンバーと切磋琢磨

「あおによし奈良の都は、咲く花の匂うがごとく今盛りなり」と万葉集に歌われた、わがふるさと奈良。「なんと(710)大きな平城京」と奈良時代の始まりの年号を暗記した人もいることでしょうか。2010年は、奈良・平城京が誕生して1300年目というところで、遷都1300年記念事業への機運が盛り上がりつつあります。修学旅行で誰もが訪れるまちですが、近年は観光客数も縮小傾向で、観光振興の起爆剤としても地元には大きなチャンスです。

### 奈良

JCは1959年、全国171番目のLOMとして誕生し、その後県内9LOMのメンバーとなりました。本年は和田陽介理事長を先頭に「青年としての気概を胸に、もてなしの探求」をスローガンに47年目の運動を元氣いっぱい展開中です。

さて、奈良JCシニアクラブの主な活動状況は、新年会・忘年会を現役とともに開催、3月には総会および現役との懇親会、5月には弥津藤(やつふじ)会が開催されます。これは春日大社の藤の花を見物しながら神官の皆さまと語り合うもので、古都、奈良らしいユニークなものといえます。そして秋は、じゃがいもコンペで現役とゴルフの腕前を競います。

また昨年、水谷悦郎、奥谷英樹、

城田全康、沢井啓祐各氏に続き、第5代シニアクラブ会長に西健治氏が就任いたしました。西会長はJCへの熱い思いを胸に、リーダーシップを発揮中です。

悠久の歴史と文化遺産を誇る奈良には多くの伝統行事があります。誰もが参加できる手作りの祭りは生まれにくい環境にありました。そんな中、「バサラまつり」「なら燈花会(とうかえ)」といった奈良JCのOBが深く関わるイベントが生まれ、まちおこしへの大きな波ができています。

われわれシニアクラブ会員は、卒業してもまちづくりへの情熱を絶やさずこ



奈良市長を囲み、現役との競開き(新年会にて)



現役との懇親会



西健治会長

となく、それぞれのステージで活動を続け、現役メンバーと問題を共有しながら切磋琢磨していきます。

日本JCシニア・クラブ

奈良ブロック担当幹事 中村光良